

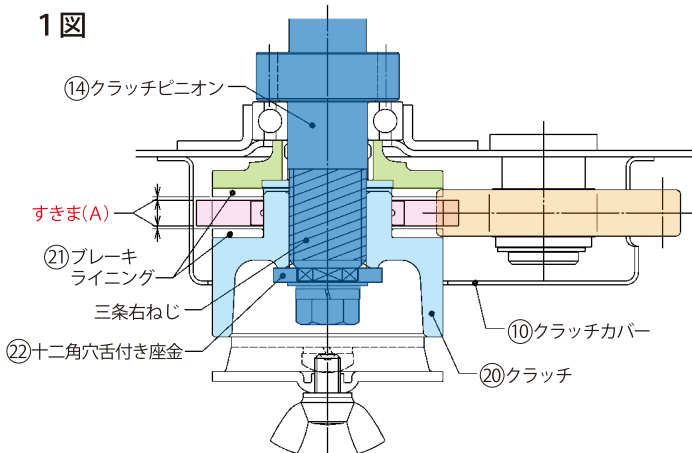
■メカニカルブレーキの作動

1図が巻上げ開始前の状態で、2図が作業中またはブレーキ機構作動中です。
 ハンドルを固定し右回転すると、三条右ねじにより、⑭クラッチピニオン、⑳クラッチが締めつけられて、⑱ラチェットギヤ、㉑ブレーキライニングを密着して1体となり2図のように荷重を巻上げます。また荷重の巻下げは、荷重の自由落下の力が、⑭クラッチピニオンに働き、三条右ねじを締めつける力となるが、ハンドルの左回転は、三条右ねじを緩める働きをするため㉑ブレーキライニングと⑱ラチェットギヤの間に適正なすきま(A)のある1図となり、自由な回転速度で巻き下げができます。巻上げ、巻下げ時の停止はメカニカルブレーキが2図となり、3図の⑳ラチェットギヤに㉓ストッパーが噛み合い、任意の所で停止します。⑭クラッチピニオン、⑳クラッチのねじは3条右ねじが切られているため、小さいピッチで締りが良く、更にリードが3倍と大きく、ネジの締めつけや、緩めるスピードが早く、メカニカルブレーキの瞬間作動を確実にしています。

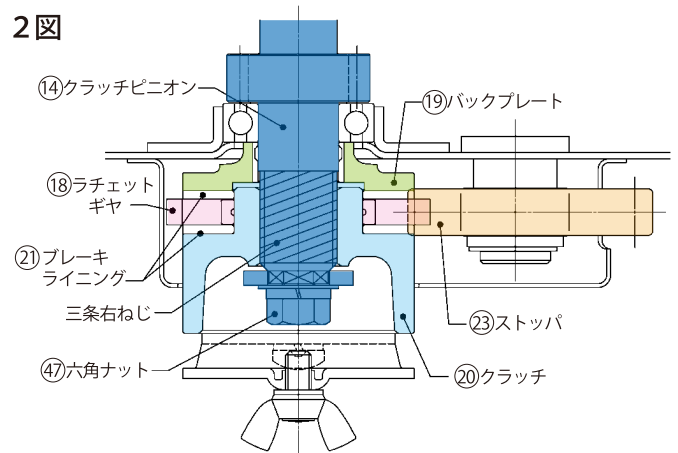
■メカニカルブレーキ機構部品表

番号	部品名称	数量
⑩	クラッチカバー	1
⑭	クラッチピニオン	1
⑱	ラチェットギヤ	1
⑲	バックプレート	1
⑳	クラッチ	1
㉑	ブレーキライニング	2
㉒	十二角穴舌付座金	1
㉓	ストッパ	1
④	六角ナット (SW付)	1

1図



2図

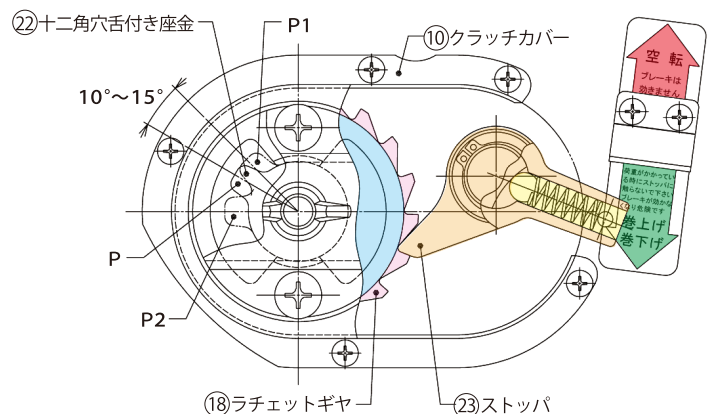


■メカニカルブレーキのギャップ調整

㉒十二角穴舌付座金の位置がメカニカルブレーキの開いたとき(3図)のP1と閉じた時のPの移動角度が $10^{\circ} \sim 15^{\circ}$ の範囲であれば適正です。

メカニカルブレーキが閉じたとき㉒十二角穴舌付座金の位置がP2となることがあります。これは㉑ブレーキライニングが磨耗したときに起こる現象です。この様なときには④M10のスプリングナット及び㉒十二角穴舌付座金をいったん外し、⑳クラッチを充分締めこんでから、㉒十二角穴舌付座金の位置をP点にセットし直せば、適正なすきま(A)が得られ、いつでもメカニカルブレーキの適正な動きが確保できます。

3図



MAXPULL MACHINERY & ENGINEERING CO., LTD.

株式会社 マックスプル工業

本社・工場 〒270-0107 千葉県流山市西深井中谷 1296-22 TEL 04(7186)6797 FAX 04(7186)6798

西日本営業所 〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川 3-4-25 TEL 06(6567)2388 FAX 06(6567)3088



<http://www.maxpull.co.jp>

MAXPULL WINCH